

[25_03]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470208>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 25 (3), 1992-05-25. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：



ライブラリ室だより

—ある屋台での会話—

初夏を迎えたとある街の夕暮れ。心地よい風の吹くガード下の屋台に、幼なじみの5人組が、久しぶりに集合した。

一同：カンパイ！！

S太：いやぁ、こうやって集まるのって久しぶりだな。どうだ、みんな元気にしたか？

H吉：ああ。たまにはね。

M代：やっぱりOLっていろいろあって疲れるわ。

N美：私もよ。残業ばかりで遊びになんか行けやしない。

T夫：俺も出張が多くってな。この前、富士通の沼津工場に行ったんだよ。今度入った VP2600 の関連作業でさ。しかも、マシンの耐久テストも兼ねてたんで、部屋がすごく暑くて、厚着して行った俺は、本物の「汗をかく仕事」ってやつをしたんだ。

H吉：そりゃ、お疲れさん。しかし、海産物が豊富だったろ、沼津って。

T夫：ああ、貝の刺身なんかすごく旨かった。おかげで仕事の後のビールはたまなかったぜ。

M代：VP2600 と対面してどうだった？

T夫：みんな知らないと思うけど、すごいよ、色が。

H吉：ショッキングピンクか？！

N美：それは過去に使ったでしょ。(注1)

T夫：ワインレッドなんだ。結構上品なんだよ。CPUTIME はグリーンと短くなってるし。

あ、そうそう。もうVPのFクラスってなくなったの知ってる？ Vクラスになったって。

S太：うん。センターニュース No.457 に載ってたよな。でも俺、もっぱら汎用機使ってるしな。

VPは使いたいとは思うんだけど、どうやっていいか。ドーモね・・・

(うんうんとうなずく5人。と、突然屋台のオヤジが首を突っ込んだ。)

オヤジ：そげな人に、よか知らせのあるばい！ VP2600 の講習会が6月2日(火)にあるけん、あんたたちも行ってみらんね。(注2)

M代：VPの講習会があるの？おじさん。

オヤジ：ああ。講師は島崎しゅんしゅいと、おちゃらけ姉ちゃんたい。あんたたち、覚えとらんね。去年のFORTRAN講習会ばした姉ちゃん。

H吉：ああ、あいつか。しかし、あいつで大丈夫かね。

N美：神経太そうだけど、やっぱり緊張してるんじゃない？

S太：それでひとまずVPの事は勉強するとして・・・

他にライブラリ室主催の講習会ってあるの？おじさん。

オヤジ：そうやねえ。6月以降は7月2日にPKS、8月6日にVP用チューニングツール利用、10月1日にmathematica。で、9月9日の統計解析。と、まあ、こげんもんやね。

H吉：ふうん。これで、いろんな使用法覚えられりゃーいいな。

N美：そういえば誰かさん、昔、UNIX頑張るって言ってなかったっけ？

M代：あ・・・

T夫：そうだよ。どうなったんだよ。

M代：い、一応私も頑張ろうと思ったのよね・・・

S太：ところが忙しかった？

M代：そ、そう。だって5，6年に一回のOSの入れ替えでしょ，10年に一回のFORTRAN
コンパイラ（FORTRAM77 → FORTRAM77 EX）の移行でしょ，それに4，5年に一回の
ハードウェア全面入れ替えに・・・

H吉：まるで惑星直列だな。

M代：それに，ブランド品のバーゲンにエステにゴルフ。スキーにダイビングに海外旅行。

T夫：そりゃ忙しいわ・・・

N美：ともかく，今後も課題として残るわけね。UNIXは。

M代：そういうこと。地道にいくわ。

S太：じゃあ，みんなの健闘を祈って，もう一回乾杯だ！

H吉：（ぼそっと）・・・あのおじさん一体何者？・・・

予想外に屋台のオヤジが活躍したガード下の宴は，とっぷり日が暮れてしまっても，まだまだ
続くのであった。――もしかしたら続くかもしれない――

（注1）みなさん覚えておいででしょうか。そうあれは広報 Vol.24 No.1 のライブラリ室便りの
ことでした。

（注2）解読できない方は，周りの九州出身者に通訳してもらいましょう。

（ライブラリ室 内線2508）